

線001	項目名	水道管移設工事費(繰越)		
主要な施策	施設管理費	ページ	53	所 属 名
年度	H27	農林水産部 農村整備課		
会計名	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241			
簡易水道事業費特別会計	【9次総の施策体系】4201			
款	簡易水道費	【予算上の経過】		
項	簡易水道費	予算事業別概要目次：当初予算・P304・(簡001)		
目	簡易水道管理費	【事業の概要】		
(単位：千円)		『国道9号線鳥取西道路事業』に伴う気高鹿野地域配水管移設工事		
前年度最終予算額	26,750	【予算繰越理由】		
本年度繰越予算額	15,027	本体工事との工程調整等に不測の日数を要したため。		
本年度決算額	10,514	【事業の成果】		
		平成25年度 1,741千円		
		平成26年度 9,684千円		
		平成27年度 10,514千円		
		【今後の課題・方向性】		
		平成29年度に簡易水道事業の水道事業への統合を目指す。		
		※その他財源の諸収入は、移設補償費		
区分	決算額	【評価結果】		
財源内訳		平成29年度に水道事業への統合を目指す。		
国・県支出金	0			
地方債	6,600			
その他	3,914			
一般財源	0			
計	10,514			
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収入	3,914			
その他	0			

線002	項目名	宇倍野簡易水道整備事業費(繰越)		
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名
年度	H27	農林水産部 農村整備課		
会計名	【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246			
簡易水道事業費特別会計	【9次総の施策体系】4201			
款	簡易水道費	【予算計上の経過】なし		
項	簡易水道費	【事業の概要】		
目	簡易水道建設費	国府簡易水道は2系統の水源地で給水しており、山崎水源系統は平成15年に認可後、水源、浄水場、配水池、配水管等を整備してきた。		
(単位：千円)		一方、玉鉾水源系統の配水池は設置後50年が経過し老朽化しており、管理道のない山頂に築造されているため、維持管理の問題を残している。このため、配水池を別用地に新設し、併せて送水ポンプ・送水管・連絡配水管を整備し、飲用水の安定供給と維持管理費の低減を図る。		
前年度最終予算額	8,647	<事業期間> 平成22年度～平成29年度		
本年度繰越予算額	1,107	【予算繰越理由】		
本年度決算額	1,004	新設配水池の用地取得について、地元関係者等との交渉に不測の日数を要したため。		
		【事業の成果】		
		老朽化した簡易水道施設の改修に向けての用地取得業務について、進捗が図られた。		
		【今後の課題・方向性】		
		継続実施		
		※その他財源のその他は、前年度繰越金		
区分	決算額	【評価結果】		
財源内訳		平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。		
国・県支出金	0			
地方債	900			
その他	104			
一般財源	0			
計	1,004			
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収入	0			
その他	104			

繰003	項目名	江波簡易水道整備事業費(繰越)														
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名												
年度	H27	農林水産部 農村整備課														
会計名	簡易水道事業費特別会計															
款	簡易水道費															
項	簡易水道費															
目	簡易水道建設費															
(単位:千円)																
前年度最終予算額	74,342	事業の概要 【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246 【9次総の施策体系】4201 【予算計上の経過】なし 【事業の概要】 江波地区の水道施設は、昭和46年の創設以来40年が経過し老朽化が進んでいるため、経年劣化が激しい施設から随時施設の更新を進めている。現在、取水口・ろ過池の整備が完了しており、今後2年間かけて老朽化した配水池および集落内配水管の更新を行う。この更新により清浄にして豊富低廉な水の安定供給を図り、生活環境の向上に寄与する。 <事業期間> 平成23年度～平成27年度 【予算繰越理由】 地元関係者及び他工事との調整に不測の日数を要したため。 【事業の成果】 老朽化した簡易水道施設を改修することで、安心・安全な水道水の安定供給を図った。 【今後の課題・方向性】 完了 ※その他財源のその他は、前年度繰越金														
本年度繰越予算額	4,414															
本年度決算額	4,314															
		その他財源の内訳														
		分担金	0													
		負担金	0													
		使用料	0													
		手数料	0													
		財産収入	0													
		寄付金	0													
		繰入金	0													
		贈収入	0													
		その他	14													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>4,300</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,314</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	4,300	その他	14	一般財源	0	計	4,314			
区 分	決算額															
国・県支出金	0															
地方債	4,300															
その他	14															
一般財源	0															
計	4,314															
評価結果	施設整備は完了した。															

繰004	項目名	口佐治簡易水道整備事業費(繰越)														
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名												
年度	H27	農林水産部 農村整備課														
会計名	簡易水道事業費特別会計															
款	簡易水道費															
項	簡易水道費															
目	簡易水道建設費															
(単位:千円)																
前年度最終予算額	17,972	事業の概要 【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246 【9次総の施策体系】4201 【予算計上の経過】なし 【事業の概要】 口佐治簡易水道施設は、昭和54年度に更新整備され、平成13年度に水源を整備した、現在給水人口677人、給水戸数209戸の簡易水道である。口佐治に隣接する葛谷、小原地区は変更認可を得て給水区域に編入されているが、施設整備がされないままになっており、葛谷、小原地区は水道未普及地域となっている。 <事業期間> 平成26年度～平成28年度 【予算繰越理由】 新設配水池の位置決定及びそれに伴う地元地権者との協議に不測の日数を要したため。 【事業の成果】 口佐治簡易水道整備事業に伴う測量等設計業務 【今後の課題・方向性】 未普及地域の解消に向けて、早期に水道設備の整備を推進する必要がある。 ※その他財源のその他は、前年度繰越金														
本年度繰越予算額	13,972															
本年度決算額	13,958															
		その他財源の内訳														
		分担金	0													
		負担金	0													
		使用料	0													
		手数料	0													
		財産収入	0													
		寄付金	0													
		繰入金	0													
		贈収入	0													
		その他	58													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>13,900</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,958</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	13,900	その他	58	一般財源	0	計	13,958			
区 分	決算額															
国・県支出金	0															
地方債	13,900															
その他	58															
一般財源	0															
計	13,958															
評価結果	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。															

緑005	項目名	津無簡易水道整備事業費(繰越)		
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名
年度	H27	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計	【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246			
款 簡易水道費	【9次総の施策体系】4201			
項 簡易水道費	【予算計上の経過】なし			
目 簡易水道建設費	【事業の概要】 津無簡易水道施設は、昭和33年度に創設され、現在給水人口137人、給水戸数52戸の地元管理の簡易水道である。配水管の一部は後年度の集落排水工事に伴い随時布設替えされてきたが、水源、浄水場、送水管、配水池等は老朽化が進行し、近年は故障・漏水等も相次いでおり劣悪な状況である。佐治町の中でも改修整備を急ぐ必要性が高い施設であり、地元の改修希望も強い。また、他の簡易水道とは1km程度離れ、土地の高低の起伏も大きく、統合よりも単独整備が経済的で適切と考えられる。湧水が比較的豊富な地域であり、新規水源にはこれを利用することも含めて検討していく。 <事業期間> 平成26年度～平成29年度			
(単位:千円)	【予算繰越理由】 地元関係者との調整に不測の日数を要したため。			
前年度最終予算額	22,462	【事業の成果】 住民に清浄にして豊富な水道水を安定的に供給するために老朽化した施設を改修し、安心して利用できる施設とし、併せて住民生活の向上に寄与する。		
本年度繰越予算額	17,352	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
本年度決算額	16,932	【予算繰越理由】 地元関係者との調整に不測の日数を要したため。		
区分	決算額	【事業の成果】 住民に清浄にして豊富な水道水を安定的に供給するために老朽化した施設を改修し、安心して利用できる施設とし、併せて住民生活の向上に寄与する。		
財源内訳		【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
地方債	0	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
その他	16,932	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
一般財源	0	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
計	16,932	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
評価結果	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。			

緑006	項目名	鬼入道飲料水供給施設整備事業費(繰越)		
主要な施策	施設建設費	ページ	53	所 属 名
年度	H27	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
簡易水道事業費特別会計	【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246			
款 簡易水道費	【9次総の施策体系】4201			
項 簡易水道費	【予算計上の経過】なし			
目 簡易水道建設費	【事業の概要】 現在、鬼入道飲料水供給施設では、1水源・1配水池で、鬼入道集落19戸・二ツ家集落3戸に給水している。湧水を水源とするこの飲料水供給施設は、滅菌設備等基本的な施設は整備されているものの、送水管の老朽化、取水不良、生活様式の変化に伴う使用水量増加による慢性的な水不足に陥っている。また、特に夏場の水量確保が難しく渇水に陥りやすく、市民生活に支障をきたしている状況である。 合併前より地域住民からは早期の水道施設整備の要望が提出されており、衛生的で安定した飲料水の供給が急務となっている。 整備方法は、新たな水源を建設する方法を取りやめ、隣接する鹿野簡易水道との統合整備を行うことが適切と判断した。 <事業期間> 平成25年度～平成29年度			
(単位:千円)	【予算繰越理由】 送水施設候補地の関係者との調整に不測の日数を要した為			
前年度最終予算額	14,633	【事業の成果】 隣接する鹿野簡易水道と統合整備することで、既存施設を廃止することが可能になり、ランニングコストを抑制し、安心・安全な水の安定的な供給を図った。		
本年度繰越予算額	12,442	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
本年度決算額	12,437	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
財源内訳		【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
地方債	12,400	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
その他	37	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
一般財源	0	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
計	12,437	【今後の課題・方向性】 継続実施 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
評価結果	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施			

繰007	項目名	気高地域簡易水道整備事業費(繰越)	
主要な施策	施設建設費	ページ	53
年度	H27	事業の概要	
所属名		農林水産部 農村整備課	
会計名		【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246	
簡易水道事業費特別会計		【9次総の施策体系】4201	
款	簡易水道費	【予算計上の経過】なし	
項	簡易水道費	【事業の概要】	
目	簡易水道建設費	本市では、市民に安全・安心な水道水を安定的に供給し、均一で良質な水道サービスを実現するため、既設の簡易水道事業等を平成28年度末に上水道事業に統合することとしており、「簡易水道施設整備計画」を策定し、統合に向けて優先度の高いものから順次施設整備を行っている。	
(単位:千円)		気高地域の簡易水道施設については平成29年度以降の整備計画となっているが、昨年より配水地直下の配水管の漏水が相次いでおり、今後も漏水の多発が見込まれるため改良予定の施設の内、給水人口の多い重要施設部分に限定して、先行整備を行う。	
前年度最終予算額	6,437	【予算繰越理由】	
本年度繰越予算額	6,437	水道管布設ルートの関係者との協議に不測の日数を要したため。	
本年度決算額	6,415	【事業の内容】	
その他財源の内訳		<気高町第3簡易水道>	
分担金	0	・測量詳細設計	
負担金	0	※その他財源のその他は、前年度繰越金	
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収金	0		
その他	15		
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	6,400		
その他	15		
一般財源	0		
計	6,415		
評価結果	平成29年度以降の上水道統合後も継続実施。		

繰008	項目名	事務費(繰越)	
主要な施策	事務費	ページ	78
年度	H27	事業の概要	
所属名		福祉保健部 高齢社会課	
会計名		【問合せ先】介護保険係 0857-20-3452	
介護保険費特別会計		【9次総の施策体系】3202	
款	総務費	【事業の概要】	
項	総務管理費	介護保険報酬改定等に対応するために必要な介護保険システム改修を行う。	
目	一般管理費	【予算繰越理由】	
(単位:千円)		介護保険システム改修事業の翌年度繰越によるもの。国の制度改正決定時期の遅れにより、システム開発元で制度改正に係るソフトウェア開発が遅れたため。	
前年度最終予算額	38,088	【事業の成果】	
本年度繰越予算額	1,977	介護保険システム改修により介護保険事務の円滑な実施を確保した。	
本年度決算額	1,976	【今後の課題・方向性】	
その他財源の内訳		介護保険システムの運用による効率的な事務執行を図る。	
分担金	0		
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収金	0		
その他	0		
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	988		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	988		
計	1,976		
評価結果	介護保険システムの運用による効率的に事務を執行している。		